

劇遊び
「もも組忍者とカラスの物語」

ねらい

- 感じたことや思ったことを言葉や体を使って表現し、なって遊ぶことを楽しむ。
- 友達と表現を見たり、言っていることを聞いたりしながら、一緒にお話の世界で遊ぶことを楽しむ。

① 遊びに必要なものをつくろう！
遊びに必要なものをつくらたりかいたりして、持ったり身に付けたりして、使って遊ぶことを楽しみ始めました。

僕の剣！
かっこいいでしょ。



もも組忍者のバンダナをつくることから始まり、剣・手裏剣など必要なものを自分の形や模様を考えたり何度も作り直したりしながらつくることを楽しんでいました！

私はどんな剣の形にしようかな？



じゃあ〜ん。
すごい剣ができたよ。



みんなが元気に過ごせるように、忍者のご飯をつくろう！前に使ったことがある、フワフワ粘土でつくろう。鮭おにぎりにお団子に。次は何つくろうかな？



忍者の家づくり。楽しいな！3階建てにしよう！





剣の修行。忍法隠れみの術。分身の術。…。修行は楽しい！



忍法変身の術！
「石」
外からは誰かわかりませんが中からは見えています。安心してください。



園庭の遊具も修業の場所！じゃがいもの苗植えが終わったらろくぼくを使って、石垣登りの修行をしよう。おー！



夜になると、忍者はやってくるのよ。月が出てきた。

② 忍者になるのが楽しい！おもしろい！
強く困ったことがあると助けることができる優しい忍者になる為に、毎日修行をしているもも組忍者。繰り返し遊びを楽しみながら、「こんなものがある！」「こんなふうにしたらいい！」「仲間になろう！」など、新たな発見や友達と言葉のやり取りや手助けする姿がいっぱい出てきました。



煙玉どうやってつくろうかな？
柔らかい紙を長く切ってつなげよう。それを新聞を丸めて、黒のビニール袋に入れて、玉をつくって芯に、紙の煙を入れて、引っ張ろう～。うまくいかな。

剣がまがってしまった。
割り箸入れてみたら。



マントどうやってつけよう？ちょっと待って。
私がとめてあげる。「かっこいいな。マント僕もつくろう。」

どこ手伝ったらいい？ありがとう。力を合わせて、3日間もかけて新聞紙にガムテープをちぎって、敷物をつくっていました。



もも組忍者！いくぞう！おー！



感じたことや思ったことを言葉や体を使って表現し、部屋や外でもも組忍者になって遊ぶことを楽しんでいます。後半はカラスが登場し、もも組忍者はどうなるのでしょうか。